

資産を守る投資判断ガイド

— セミシニアのための思考整理 —

著者

チャレンジ投資家 悠

はじめに

60代になると、多くの人が
次のことを考え始めます。

- 老後資産は足りるのか
- 投資は必要なのか
- 現金のままで大丈夫なのか

ニュースを見ると

- 戦争
- 円安
- インフレ

という言葉が増えています。

すると

「投資をした方がいいのか」

「それとも守るべきなのか」

判断が難しくなります。

このガイドは

投資の正解を示すものではありません。

目的は

判断の軸を整理すること

です。

第 1 章

資産は 3 つに分けて考える

資産は次の 3 種類に分けて考えると
理解しやすくなります。

① 円資産

例

- 銀行預金
- 日本円現金

特徴

- 安定
- インフレに弱い

② 外貨資産

例

- 外貨預金
- 米国株
- 外国 ETF

特徴

- 為替の影響

- 分散効果

③ 実物資産

例

- 不動産
- 金

特徴

- インフレに強い場合がある

✦ 重要

資産を 1 種類だけにすると
リスクが集中します。

第 2 章

資産は 2 種類に分類できる

資産は

増える資産

と

減らない資産

に分けて考えることができます。

増える資産

例

- 株式
- 成長企業
- 株式 ETF

特徴

- 長期成長
- 価格変動あり

減らない資産

例

- 不動産
- 金
- 外貨

特徴

- インフレ対策

✦ 判断軸

資産は

増える資産

+

減らない資産

で考える。

第 3 章

インフレと資産の関係

インフレとは

物価が上がる状態

です。

例えば

5 年前

100 円の商品

現在

120 円

この場合

現金の価値は約 20%減少

します。

例

1000 万円の預金

インフレ 2%

10 年

実質価値

約 800 万円

△ 現金は安全ですが

価値は減る可能性があります。

第4章

セミシニア投資の基本

セミシニア投資の基本は

守りながら分散すること

です。

若い世代の投資

増やす

セミシニア投資

守る

+

少し増やす

第5章

投資判断の3つの質問

投資判断をするとき

次の3つを考えます。

質問①

これは円資産か

質問②

増える資産か
減らない資産か

質問③

長期で考えられるか

✦ この3つだけで
投資判断は整理できます。

第6章

セミシニアの資産配置（例）

例

資産 1000 万円

現金	40%
株式 ETF	30%
外貨資産	20%
金	10%

※あくまで例です

重要なのは

分散

です。

第 7 章

投資で一番大切なこと

投資で一番大切なのは

判断の軸

です。

ニュースを見ると
迷います。

しかし

軸があると

冷静に判断できます。

まとめ

資産を守るためには

次の 3 つが重要です。

- ✦ 資産は 3 種類で考える
- ✦ 増える資産と減らない資産
- ✦ 分散する

著者より

投資には
正解がありません。

しかし

判断の軸

は作ることができます。

この PDF が
あなたの資産判断の整理に
役立てば幸いです。

次のステップ

さらに詳しく

セミシニア資産運用の設計

をまとめました。

有料 PDF

退職金を 5 年で 2 倍に増やす 資産運用設計書

こちらで解説しています。

ブログ

65 歳から、もっと自由に

資産

副業

人生設計

について発信しています。